

令和8年度富山県水墨美術館常設展示リスト

【水墨表現にみる近代日本画】（令和8年度第2期 5/12～7/12）

常設展示室「水墨表現にみる近代日本画」では、近代以降の日本の水墨画を紹介します。代表的な画家たちによる水墨表現を通して、時代を超えて受け継がれる水墨画の深奥な精神性に満ちた世界をご鑑賞ください。今回は梅雨の時期にあわせて、雨や水を描いた作品をご紹介します。表現の違いを見比べてみてください。また、令和7年度新収蔵品の木村立嶽《柳桐香華貴妃》を初公開します。

最新情報は  
こちらから  
(水美HP)



No.	作家名	生年	没年	作品名	材質技法・形状	サイズ(縦×横cm) (高さ×幅×奥行)
		生地	没地	制作年		
1	木村 立嶽 きむら りゅうがく	文政11 (1828)	明治23 (1890)	楼閣、山水、人物(右隻)	紙本着彩・屏風六曲一双	173.5 × 353.7
		富山県 (富山)	神奈川県	明治15-23 (1882-90) 年頃		
2	木村 立嶽 きむら りゅうがく	文政11 (1828)	明治23 (1890)	柳桐香華貴妃	絹本着彩・軸装	126.0 × 55.8
		富山県 (富山)	神奈川県	明治3 (1870) 年		
3	横山 大観 よこやま たいかん	明治元 (1868)	昭和33 (1958)	立山遠望	絹本墨画淡彩・軸装	120.0 × 49.0
		茨城県	東京都	明治35 (1902) 年頃		
4	渡邊 省亭 わたなべ せいてい	嘉永4 (1851)	大正7 (1918)	中月下竹林 右雨中桜 左雪柳鴉	絹本着彩・軸装 三幅	各 115.0 × 40.0
		東京都	東京都	明治33 (1900) 年		
5	大智 勝観 おおち しょうかん	明治15 (1882)	昭和33 (1958)	雨後	絹本墨画・屏風二曲一双	各 173.0 × 178.0
		愛媛県	東京都	不詳		
6	大島 秀信 おおしま ひでのぶ	昭和3 (1928)	平成26 (2014)	化石の森	紙本着彩・額装	167.0 × 212.5
		富山県 (富山)	富山県 (富山)	昭和49 (1974) 年		
7	郷倉 千靱 ごうくら せんじん	明治25 (1892)	昭和50 (1975)	初冬	絹本着彩・額装	166.0 × 174.0
		富山県 (射水)	東京都	大正13 (1924) 年		
8	川合 玉堂 かわい ぎょくどう	明治6 (1873)	昭和32 (1957)	湖畔連雨図	絹本墨画・軸装	127.0 × 51.0
		愛知県	東京都	明治45 (1912) 年		
9	篁 牛人 たかむら ぎゅうじん	明治34 (1901)	昭和59 (1984)	訶梨諦母	紙本墨画・軸装	91.0 × 115.0
		富山県 (富山)	富山県 (富山)	昭和45 (1970) 年		
10	斎藤 博之 さいとう ひろゆき	大正8 (1919)	昭和62 (1987)	水急不流月	紙本墨画・軸装	31.0 × 49.0
		中国 遼寧省	神奈川県	昭和58 (1983) 年		
11	斎藤 博之 さいとう ひろゆき	大正8 (1919)	昭和62 (1987)	綱引河童図	紙本墨画・軸装	38.0 × 44.0
		中国 遼寧省	神奈川県	昭和45 (1970) 年		
12	松尾 敏男 まつお としお	明治26 (1893)	昭和43 (1968)	連山流水譜	紙本墨画着彩・ 屏風六曲一双	各 166.7 × 365.7
		富山県 (高岡)	京都府	昭和57 (1982) 年		
13	長崎 莫人 ながさき ばくじん	昭和4 (1929)	令和6 (2024)	岩山	紙本墨画・額装	154.0 × 173.0
		富山県 (朝日)	東京都	昭和54 (1979) 年		
14	松原 定吉 まつばら さだきち	明治26 (1893)	昭和30 (1955)	長板中形「水に鯉」	長板中形・着尺	36.5
		富山県 (魚津)	東京都	昭和30 (1955) 年		
15	畠 春斎(二代) はた しゅんさい(にだい)	昭和19 (1944)	平成19 (2007)	桐文兎環付釜	茶の湯釜	20.0 × φ21.6
		富山県 (高岡)	富山県 (高岡)	平成14 (2002) 年		

令和8年度富山県水墨美術館常設展示リスト

16	畠 春斎(二代)	昭和19 (1944)	平成19 (2007)	とまや釜	茶の湯釜	21.6 × 21.6 × φ23.0
	はた しゅんさい(にだい)	富山県 (高岡)	富山県 (高岡)	平成17(2005)年		
17	須賀 松園(二代)	明治31 (1898)	昭和54 (1979)	室内	蝋型鑄造	35.0 × 47.0 × 26.0
	すが しょうえん(にだい)	東京都	富山県 (高岡)	昭和49(1974)年		
18	石黒 宗麿	明治26 (1893)	昭和43 (1968)	緑釉壺	鉄釉陶器	25.0 × 20.0 × 20.0
	いしぐろ むねまる	富山県 (高岡)	京都府	昭和25-30(1950-55)年		
19	金森 映井智	明治41 (1908)	平成13 (2001)	象嵌鑄銅花器	彫金	26.0 × 24.0 × 24.0
	かなもり えいいち	富山県 (高岡)	富山県 (高岡)	平成3(1991)年		
20	大澤 光民	昭和16 (1941)	令和5 (2023)	鑄ぐるみ鑄銅花器「薫風」	鑄ぐるみ鑄銅	27.0 × 41.0 × 11.0
	おおざわ こうみん	富山県 (高岡)	富山県 (高岡)	平成16(2004)年		

【下保昭作品室】(令和8年度第2期 5/12~7/12)

<p>下保昭(かほ あきら・昭和2(1927)年~平成30(2018)年)は砺波市に生まれ、京都に移り、本格的に日本画の制作に取り組みました。昭和50年代後半からは墨の魅力にひかれて独創的な水墨山水画を描くに至り、自然界のエネルギーを東洋的な無常観の世界に昇華させた、精神性の高い作風を確立しました。今回は、昭和59年制作の作品を中心に展示します。昭和57~59年の3年間、下保は毎年中国を訪れ、桂林などの風景を描いた作品を多く手掛けました。</p>				<p>最新情報は こちらから (水美HP)</p> 
No.	作品名	制作年	材質技法・形状	サイズ(縦×横cm)
1	攢峯烟雨 さんほうえんう	昭和59(1984)年	紙本墨画・額装	40.0 × 69.4
2	白雲茫茫 はくうんぼうぼう	昭和59(1984)年	紙本墨画・額装	39.0 × 69.0
3	山半白雲 さんはんはくうん	昭和59(1984)年	紙本墨画・額装	39.0 × 69.0
4	奇峯湧雲 きほうゆううん	昭和59(1984)年	紙本墨画・額装	39.5 × 69.0
5	林 はやし	昭和35(1960)年	紙本着彩・軸装	42.3 × 54.5
6	流れ ながれ	昭和32(1957)年	紙本着彩・額装	77.5 × 144.5
7	山 やま	昭和36(1961)年	紙本着彩・額装	38.0 × 51.8
8	比叡白雪 ひえいはくせつ	昭和56(1981)年	紙本墨画・軸装	55.5 × 49.3
9	象 しょう	昭和46(1971)年	紙本着彩・額装	175.5 × 176.0
10	乍雨乍晴 さうさせい	昭和47(1972)年	紙本着彩・屏風六曲一双	各 168.0 × 372.0